

おおふな

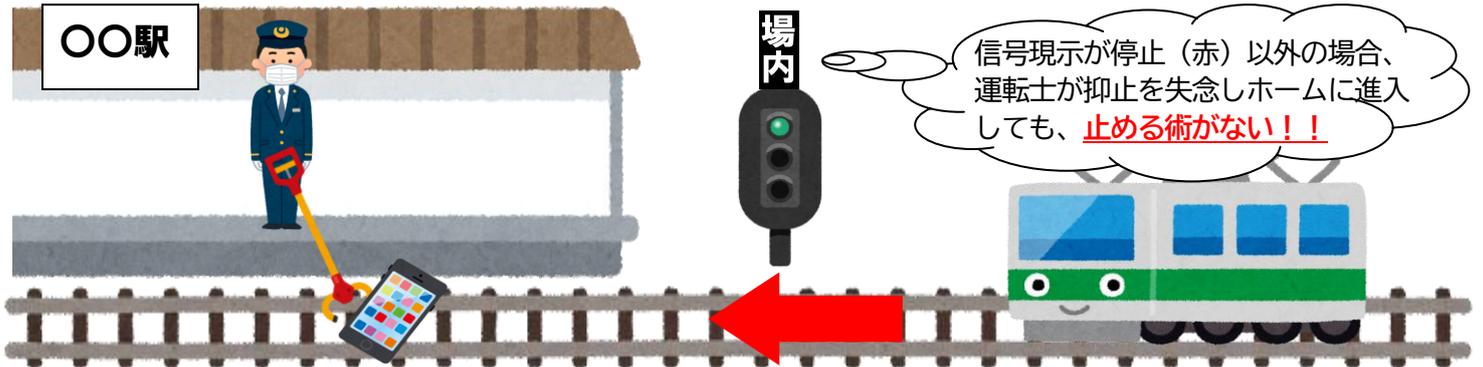
2026年1月16日 No.42

発行者：森田隼士 編集：情宣部

JR東労組 大船支部

「抑止」での落とし物拾得作業は本当に安全??

現在、横浜支社管内での落とし物拾得作業は原則列車を抑止した状態で行っています。「抑止」と聞くと列車が来ることは無いので、安全に作業できるように感じられますが、実際はどうなのでしょう。



落とし物拾得作業を行う場合には「口頭抑止」と「信号抑止」のどちらかが行われています。「口頭抑止」の場合、多くは場内信号機機外（信号機の手前）で指令から運転士に通告され、抑止が完了します。この時、殆ど場合は場内信号機の現示をダウンさせていません（＝停止信号にしていな）。

**横地申6号交渉で横浜地本が訴えたこと
落とし物拾得作業での口頭抑止の際は
現示をダウンさせるべきだ!!**



しかし会社回答は・・・

- ・現示をダウンさせると、その手前の列車にも影響する
- ・なぜ抑止するのか、運転士に考えて頂くことが重要



営業職場の仲間からは・・・

完全に電車が来ないものだと思っていた
組合から話を聞くまで停止現示
になっていないとは知らなかった。

運輸職場の仲間からは・・・

数駅手前から抑止の指示が来る。
他に事象が発生すると、抑止を受け
ていることを失念しそうで怖い。

現示をダウンさせていない状態で、運転士が抑止を受けていたことを失念すると・・・

落とし物拾得作業中に列車が進入してきます!!

**「運転士に考えてもらう」という精神論で安全は成立しない!
安全で安心して働ける職場づくりのため、東労組へ結集しよう!!**